

**【真岡市】
第三回WS実施報告**

実施概要

第3回 公開セミナー

- **名称** 私たちが主役の複合交流拠点
～図書館経営のかたちを探る－真岡型協働の可能性と課題～
- **開催日程** 2023年12月2日（土）
- **開催時間** 13:30～16:30
- **開催場所** 真岡市立図書館（真岡市田町1344）
- **実施内容**
 1. はじめに(真岡市担当より)
 2. セミナー「図書館経営のかたちを探る」
 3. ワークショップ・意見交換
 4. ふりかえり
 5. 次回アナウンス、記念撮影
- **主催** 真岡市総合政策部プロジェクト推進課複合交流拠点整備係
- **協力** シダックス大新東ヒューマンサービス(株)
(株)ローカルファースト研究所
アカデミック・リソース・ガイド(株)
合同会社日本CSV総合研究所

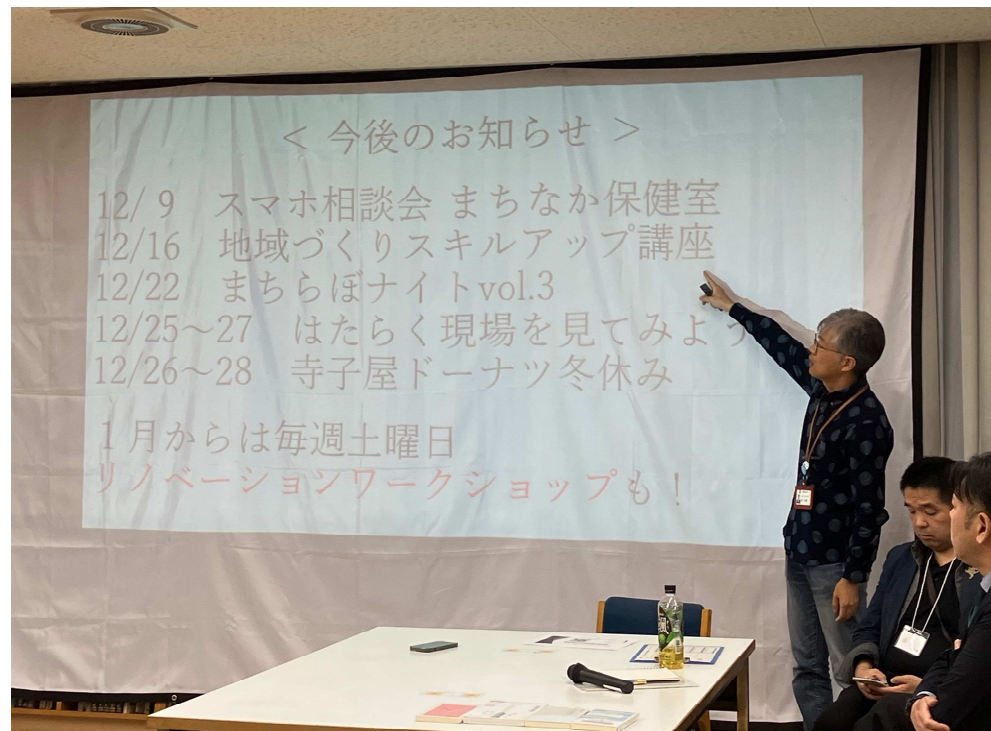
開催報告

1.はじめに

担当：真岡市プロジェクト推進課 林大輔

【内容】

- ①スケジュールの説明
- ②配布資料説明
- ③事業説明
- ④施設概要・進捗状況説明
- ⑤その他（「まちつく」紹介等）



<説明スライド一部抜粋>

複合交流拠点

「遊ぶ・学ぶ・にぎわう」

- 子育て支援の充実
- 生涯学習の推進
- 中心市街地の活性化

複合交流拠点のテーマ



完成イメージパース



2023年12月現在の様子



「みんなで仮囲いに絵を描こう」
(真岡まちづくりプロジェクト)

開催報告

2. セミナー

講師：図書館プロデューサー 岡本真

【内容】

① 図書館経営のかたち

提供者としての指定管理者と受益者としての市民
↓
指定管理者と市民協働組織の協働
↓
市民協働組織を土台とした図書館経営

—真岡モデルとして目指したいかたち

② 真岡モデルの理想的な可能性と現実的な課題

- ・理想的な可能性(“Re-Public”／公民・官民連携、産官学民金連携)
- ・現実的な課題(健全で持続可能な組織づくり／多様な財源の中長期的な確保)

③ 図書館経営の事例紹介

- ・佐賀県伊万里市民図書館
- ・鹿児島県指宿市立図書館
- ・高知県高知こどもの図書館

④ 真岡モデルに向けての提言

- 1 多世代が参画して「こども・若者」を中心にする
- 2 単独から複合へ、複合から融合へを志向する
- 3 行政、市民、法人の責任分界点を明確にする
- 4 市民団体、市民会社等で売上と利益を生む
- 5 デジタルを徹底的に使い倒すことで効率化する
- 6 調査・研究し、そのために図書館などを使い倒す
- 7 「積小為大」を実践する(二宮尊徳)
- 8 優れた先行者・先達にまなぶ(≠事例収集)



開催報告

3. ワークショップ

【方法】

- ・参加者は4つのテーマから興味のあるグループに参加。各ファシリテーターの元、ワークショップを実施。
- ・まずはグループ内全ての参加者が各30秒間で自己紹介。(自己紹介カード使用)
- その後、ファシリテーターを中心に意見交換。
- ・1回40分。グループを変えて計2コマ(計80分)開催。

<自己紹介カード>

30秒 で自己紹介
氏名(フリガナ)
氏名(ローマ字)
所属
自己紹介

【Aグループ】

テーマ：施設運営

ファシリテーター：渡辺、嶋津

(シダックス大新東ヒューマンサービス(株))



複合施設で働くスタッフについての雇用、育成や15年後にどうなるかといった話題が出た。複合施設が始まって協力して下さるとい声もいただき、皆さんの施設をどのように皆さんの力を借りて一緒に作っていくかが重要であり、今後も継続して考えていくという話となった。

【Bグループ】

テーマ：ソーシャルキャピタル

ファシリテーター：林

(㈱ローカルファースト研究所)



「こんな図書館だったらいいな」という意見を自由に発信し、多様性を受け入れる場、ステータスとなる場、子どもたちが集まる場など、図書館に対してそれぞれの期待が述べられた。バランスを取りながら、ボーダレスな空間としてあらゆる人が参加できる工夫が必要である、という話となった。

【Cグループ】

テーマ：子育て

ファシリテーター：羽崎

(合同会社日本CSV総合研究所)



フロアごとに一般書エリア、児童書エリアと分かれているため利用の分断がおきてしまうのではないかと声があった。気軽にフロアを行き来できるような対策が必要だと意見が出た。また複合施設である強みを活かすためには、どのような手段があるだろうかとの問いかけもあった。

【Dグループ】

テーマ：図書館

ファシリテーター：岡本

(アカデミック・リソース・ガイド(株))

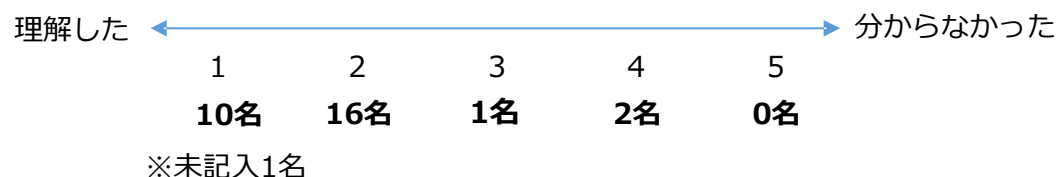


行政と市民が健全な関係であることが望ましいという事を今回のWSで感じた。また、お互いが対等であることを図書館を使って調査研究していくと良いのではないか。組織の活動には資金が必要で、持続させること、経済を作ることが大切。という話となった。

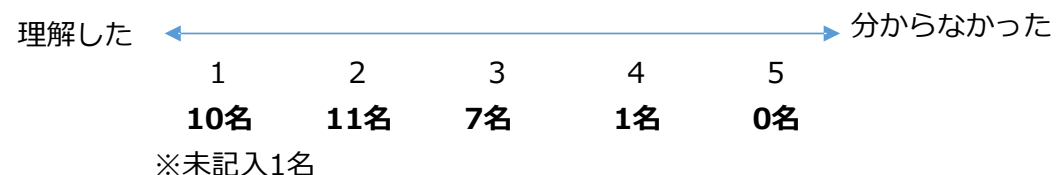
アンケート集計結果

アンケート回答者数：30名

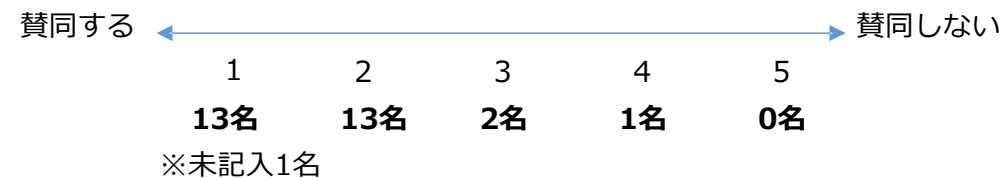
I 図書館経営の類型や形態について



II 図書館経営の真岡モデルについて



III 図書館経営の真岡モデルについて



- 全体的に理解度や意欲の高さが伺える。
- 図書館経営の種類や形態については、85%程度の参加者が、ある程度理解をしたと回答された。
- 図書館経営の真岡モデルに関しては、理解度にくらべて、賛同するという回答が多かった。
- 自由記入欄の記載(P6参照)から、ポジティブな意見が多く見られた。
- 自由記入欄の記載(P6参照)から、「成功させたい」「つくる」等、自主性を持った意見が見られた。
- その他の自由記入回答から、参加者の意欲や期待の大きさがうかがえた。特に「誰でも気軽に利用できる」や「交流や体験ができる」といった意見が多く見られた。

アンケート集計結果

自由意見欄（抜粋）

真岡モデルについて思うことを書いてみよう

- 色々な事が初の試みのモデルだという事なので、**ぜひ成功させたい**。
- これまでにないモデルケースということで楽しみにしています！
- **この事業を応援することは名誉なことだ！！**と思ってもらえるモデルをつくる。
- デジタルをつかいこなすサポート体制が大切。
- 多様なプレーヤー、**市民が持っている専門性を活かせる**。
- **若い人がチャレンジできる場**になり、起業家につながったら楽しい。
- 二宮尊徳の地として、積小為大、**小さな活動から大きなうねり**を。
- 市民がやりたいことを持ち寄れる所になっていくといいな。
- **“真岡らしさ”で温かい交流**(市民だけでなく市外や旅行で来た外国の方も含む)がある施設。

図書館経営への期待や要望を書いてみよう

- **若い世代**（小中学生だけでなく地元を離れ真岡を客観的に見ることができる世代）の声や子育て世代の声も聞きたいです。
- 多様なコミュニケーション、発展、スタートができる場所。
- **街の情報発信拠点としての役割**を果たせる施設へ。
- 縦割りにならず、**横のつながり**がうまく機能していくといいな。
- 市民協働組織が中心になってよりよい図書館になるようになって欲しい。
- **持続可能で理想を実現する場**(フルインクルーシブ、女性の賃金向上)。
- 自由と市民の理解に支えられた信頼を得た運営・経営。
- 市民の方にどんどんアイデアを出して頂きたいです！**気軽にお話できる場があるといい**と思います。
- 来場者数より**ファンの数を増やす経営の期待**。

次回開催予定

第4回 公開セミナー

- 名称 私たちが主役の複合交流拠点
～子ども子育て支援「子どもが まん中」～
- 開催日程 2024年2月3日（土）
- 開催時間 13:30～16:30
- 定員 100名
- 開催場所 真岡市立図書館 2階学習室
(真岡市田町1344)



